



平成 30 年度事業計画

《基本方針》

特定非営利活動法人日本フロアホッケー連盟は、日本フロアホッケー界を統括し、代表する競技団体であり、年齢や性別、障がいの有無に関わらず、体力や技能レベルに応じて、全ての人を楽しめるユニバーサルスポーツとして、この競技の普及・交流を通して、インクルーシブな社会創造に寄与することを目的としている。

このため、全ての人を対象に、ユニバーサルスポーツであるフロアホッケーの普及に関する事業を通して、前年と同様に地域社会の人と人との交流を促進し、地域の絆の再生を図るなど諸施策をさらに推進していく必要がある。

特に本年は財政状況が大変厳しくなり、諸経費の節減はもとより、寄附者（賛助会員等）の拡大や広告料・支援金、競技者からの納付金等を含めて、本連盟一丸となって収入増に努めることが必要である。そのためには、役員を先頭に企業・行政等の支援・協力を積極的に推進していく。

現在 5 都県に本連盟の支部が活動する中で、東京オリンピック・パラリンピック開催でスポーツ環境が進展している関東地域や他地域でも新たな支部の萌芽がある。これらの活動に支援するとともに、フロアホッケー競技の普及を図り、指導者育成や自立した競技者の拡大、競技力の向上を目指す方向も重視して事業を展開していく。さらに昨年来の拠点整備を一層進めて、フロアホッケーの裾野を広げる事業を推進していく。

こうした事業を効果的かつスムーズに実施していくためには、日本フロアホッケー連盟と 5 つの支部の協力、連携、コミュニケーションが重要であることから、「ZOOM(ズーム)」等を通じた会議等を開催して、情報共有を図っていく。

以上の基本方針をもとに、次のとおり平成 30 年度の重点目標を定める。

【重点目標】

- 1 第 13 回全日本フロアホッケー競技大会を頂点として、第 8 回関東甲信越フロアホッケー大会・第 8 回ユニバーサルフロアホッケー中国四国大会・第 8 回ユニバーサルフロアホッケー九州大会の全国・ブロック大会等の充実を図る。
- 2 昨年度、競技用具等を配置した全国の 6 地域拠点(山形連盟、きさらぎ Jr、エフピコ八王子、エフピコ福山、熊本県連盟、大分県連盟)及び関係支部を起点にフロアホッケーの地域拠点づくり推進し、体験会・交流会・レフェリー講習会等を開催して、フロアホッケーの裾野を拡大する。
- 3 用具については、安全点検の励行を促して安心・安全な競技の普及に努めるとともに、用具補修費の負担についても検討する。また、用具貸出については積極的に行いながらも、チームや個人での用具購入を推進し、連盟からの貸出用具に頼らない個人所有化を促し、自立した競技者の拡大をめざす。
- 4 平成 32 年度の認定法人化を目指し、寄附者の拡大、行政・企業との連携を図る。

《事業内容》

1 全国・ブロック大会等の充実

- (1) エフピコ杯第 13 回全日本フロアホッケー競技大会 10 月 20 日(土)～21 日(日)に葛飾区奥戸総合スポーツセンターで開催する。この大会では開催地である葛飾区と共催し、自治体と一体となったフロアホッケー普及のモデル事業と位置付けて推進する。

(2) 関東甲信越・中国四国・九州大会及び山形大会を充実させ、参加チームの競技力向上や用具の個人所有化を促し、自立した競技者拡大をめざす。また、開催時期や運営組織等、大会開催に係る諸課題を検討して大会の質的向上を図る。

(3) 第7回関東甲信越大会は、スポーツ安全協会からの助成金を受けたので、適切な執行とともに大会の更なる充実をめざす。

2 地域拠点の充実

(1) 地域拠点においては、関係支部等と共に講習会・体験会・交流会への用具貸与をはじめ、レフェリー・インストラクター養成を目指してフロアホッケーの裾野を広げる活動を積極的に行う。

(2) 近隣の企業や自治体にもフロアホッケーの魅力を発信し、組織充実に向けて協力関係構築をめざす。

3 自立した競技者の育成

(1) 貸出用具から用具の個人所有化へと考えている競技者の便宜を図るため、関連会社との連携を密にして、広報活動を行う。

(2) 日本財団の支援で作成した指導者テキスト・競技者テキスト・報告書を活用し、基本ルール・戦術・戦略を理解した競技者の育成をめざす。

4 諸規定等の運用

(1) 支部組織等に対する用具の貸出・貸与の規定を順守して運用する。

(2) レフェリー・インストラクターの賛助会員への入会を積極的に促して会員登録を行う。

(3) 関係各位に配布する事業報告書やホームページに規程等を掲載して理解を促す。

5 連盟の認定法人化に向けた取組

(1) 2年間で賛助会員数が最低100人以上で一人3,000円の会費納入が認定の大きな条件であるので、パンフレットを作成して大会や講習会等で賛助会員への入会活動を行う。

(2) 理事・監事・社員は、5人以上の賛助会員の確保を目標として活動を行い、各支部の理事以上の役員は賛助会員と入会して、組織の充実・拡大を図る。

(3) 本連盟の理念に共感する企業・自治体等との連携を密にして賛助会員拡大をめざす。

6 レフェリー・インストラクターの養成と資質の向上

(1) レフェリー・インストラクターは、本連盟の事業を賛助する最前線にある立場を自覚し、研修会に積極的に参加して資質の向上を図るとともに、本連盟の理念の具現化に努力する。

(2) 全国大会・ブロック大会時にレフェリー・インストラクター講習会を実施し、資質の向上を図るとともに、新規取得者の拡大を図る。

(3) フロアホッケー体験会・交流会においては、可能な限りレフェリー・インストラクターの資格認定講習会等を併設して実施する。

(4) 各ブロック単位でのレフェリー・インストラクター講習会・研修会を積極的に企画・運営する。

7 顕彰制度の検討

(1) 長年にわたり本連盟の活動にご協力・ご支援をいただいた方々に対する顕彰規定等の検討を行う。

(2) 長年の大会参加チーム・個人及びインクルージョン社会実現に尽力された方々に対する顕彰規定等の検討を行う。

8 ホームページの充実

(1) ホームページに各種規程を掲載するとともに、指導者や競技者テキストをダウンロード

- ドできる環境をつくり、より情報を伝えやすい内容とする。
- (2) 連絡事項等を充実させるとともに、スタッフブログを開設する。

別表（競技会予定）

【当連盟が主催する競技会】

大会名称	エフピコ杯 第13回全日本フロアホッケー競技大会	
主 催	日本フロアホッケー連盟	
開催時期	平成30年10月20日（土）～21日（日）	
開催場所	東京都葛飾区奥戸総合スポーツセンター	
参加資格	本連盟の登録競技者（中学生以上1,000円） 大会要項に準拠	
参加料	5,000円/チーム・700円/選手	
問 合 せ	日本フロアホッケー連盟	class A

大会名称	第8回関東甲信越フロアホッケー競技大会	
主 催	日本フロアホッケー連盟（主管：長野県フロアホッケー連盟）	
開催時期	平成30年6月9日（土）	
開催場所	長野市真島総合スポーツアリーナ ホワイトリング	
参加資格	大会要項に準拠	
参加料	5,000円/チーム・700円/選手	
問 合 せ	日本フロアホッケー連盟	class B

大会名称	第8回ユニバーサルフロアホッケー九州大会	
主 催	日本フロアホッケー連盟（主管 熊本県フロアホッケー連盟）	
開催時期	平成30年11月18日（日）	
開催場所	熊本学園大学体育館	
参加資格	本連盟の登録競技者（中学生以上1,000円） 障害者3名を含むチーム	
参加料	5,000円/チーム・700円/選手	
問 合 せ	熊本県フロアホッケー連盟	class B

大会名称	第8回ユニバーサルフロアホッケー中国四国大会	
主 催	日本フロアホッケー連盟	
開催時期	平成31年2月16日（土）	
開催場所	福山市緑町公園屋内競技場（ローズアリーナ）	
参加資格	本連盟の登録競技者（中学生以上1,000円） 大会要項に準拠	
参加料	5,000円/チーム・700円/選手	
問 合 せ	日本フロアホッケー連盟	class B

【支部が主催・主管するフロアホッケー大会の開催支援】

大会名称	山形県フロアホッケー競技大会 10周年記念大会	
主 催	山形県フロアホッケー連盟	
開催時期	平成30年11月4日(日)	
開催場所	上山南小学校体育館	
参加資格	山形県フロアホッケー連盟に登録する選手、チーム。選手登録・ベンチ入りは11名以上21名以内とする。小学校4年生以上(予定)	
参加料	参加料 0円 保険料 実費 (予定)	
用 具	フロアホッケー、ソフトフロアホッケー	
問 合 せ	山形県フロアホッケー連盟	c l a s s C

大会名称	第2回東京都フロアホッケー競技会	
主 催	東京都フロアホッケー連盟	
開催時期	平成31年1月19日(土)	
開催場所	東京都葛飾区奥戸総合スポーツセンター	
参加資格	大会要項に準拠	
参加料	500円/選手(予定)	
問 合 せ	東京都フロアホッケー連盟	c l a s s C

大会名称	INC長野ケーブルテレビ杯第12回長野市フロアホッケージュニア交流戦	
主 催	長野県フロアホッケー連盟	
開催時期	平成31年1月	
開催場所	長野運動公園総合運動場 総合体育館(東和田)	
参加資格	大会要項に準拠	
参加料	500円/選手	
問 合 せ	長野県フロアホッケー連盟	c l a s s C

【参 考】

山形連盟10周年記念事業

事業名	10周年記念事業(仮題)インクルージョン社会の実現に向けて	
主 催	山形フロアホッケー連盟	
内 容	11月3日(土)【ヒルズサンピア山形】〒990-2333 山形市蔵王飯田637 ①フォーラム開催 ②10周年記念 祝賀会 11月4日(日)【上山南小学校体育館】 ○10周年記念フロアホッケー競技会 従来の県大会に加え、東北地区の普及を念頭に置き、県外チームの参加を呼びかける。また、体験会を同時開催し新規チーム設立に向けた足掛かりとする。	
問 合 せ	山形フロアホッケー連盟	詳細は後日連絡